

平成 9 年 度 新潟応用地質研究会総会

日 時：平成 9 年 6 月 26 日 (木)

場 所：技術士センタービル 新潟市新光町10番2

TEL 281-1114

総 会 (13:10~13:30)

総 会 次 第

1. 開 会
2. 会 長 挨拶
3. 議 長 選 出
4. 報 告 承 認
 - (1) 平成8年度事業報告
 - (2) 平成8年度決算報告
 - (3) 平成8年度会計監査報告
5. 議 事
 - (1) 平成9年度の運営方針(案)について
 - (2) 平成9年度事業計画(案)ならびに予算(案)について
 - (3) 会則変更(案)について
 - (4) 平成9年度役員(案)について
6. 閉 会

例 会 (13:30~17:00)

【研究発表】

① 大谷ダム(五十嵐川ダム)建設に まつわる2・3の技術的課題	新潟県三面川開発事務所	石橋 輝樹
② GPS測量の活用法の紹介	DXアンテナ(株)	烏元 秀幸
————— 休 憩 —————		
③ 個別要素法による岩石崩壊の解析例	(株)キタック	堀内 宏信

【特別講演】

「斜面災害と土質工学の取り組み」	アトパス 工学(株)代表・理博・技術士 小松田 精吉
------------------	-------------------------------

* 例会終了後、同会場におきまして懇親会を開催しますので御気軽に参加して下さい。
会費 3,500 円

開催年月日 会場	名 称 内 容	参加数
H8.4.19 地質会館	第69回幹事会 ・7年決算, 8年予算, 活動方針 会場の手配, その他	9名
H8.5.24 技術士会館	第70回幹事会・総会例会準備, 役割分担, その他	14名
H8.5.24 技術士会館	評議員会 ・平成7年決算, 8年予算 会則改定 その他 ・活動方針	7名
H8.5.24 技術士会館	総会 春季例会 ・ホ-リ用泥水の添加材について (株)川口エス 工業 玉山幸治 ・深類の有効利用 (財)新潟県環境衛生研究所 坂井 正 ・簡易空中撮影と周辺技術 (株)ミネヤ科学 徳吉三樹 ・岩石崩壊とその対策 (株)キタック 伊藤哲雄 〔特別講演〕・環境・災害問題と地質学 新潟大学災害研 高浜信行	79名
H8.7.29 地質会館	第71回幹事会 ・見学会について 合同開催を検討	11名
H8.7.20	平成8年度現地見学会 ・新潟県糸魚川市の姫川および国道148号線の被災及び復旧 状況(平岩地区を中心) 応用38名, 技術17名, 地盤24名	79名
H8.10.31 地質会館	第72回幹事会 ・秋季例会について 会誌の発行について その他	13名
H8.11.13 地質会館	第73回幹事会 ・秋季例会の内容決定 その他	13名
H8.12.6 技術士ビル	秋季例会 ・軟弱地盤の改良工法 (株)本間組 佐藤明人 ・岩盤亀裂の計測 シツ計測(株) 二階堂剛 ・道路防災点検について (株)応用地質 針生真也 ・1670年西蒲原地震の震央の再決定とその意味 新潟大学災害研究センター 河内一男・大木靖衛 (特別講演)・磐越自動車道の施工と地盤 日本道路公団 羽根田汎美	66名
H9.3.19 地質会館	第74回幹事会 ・総会, 例会の日程と内容 ・地質会館の消滅と	11名
備考	第1回 編集委員会 H.8年 12月 20日 (地質会館) 4名 第2回 編集委員会 H.9年 1月 31日 (地質会館) 5名 第3回 編集委員会 H.9年 5月 30日 (技術士ビル) 4名	
[新賛助会員紹介]		
社名	代表者	住 所
株式会社北陸マイコマ	大塚 敏明	上越市大字下源入 186-6
株式会社測商技研	大丸 正己	新潟市万代5丁目2ア-ス万代西308
川崎地質株式会社北陸支店	高橋 廣	新潟市紫竹山440-22
		TEL
		0255-45-2201
		025-264-6921
		025-241-6294

報告承認(2)

平成8年度決算報告

(収入の部)

平成8年4月1日～平成9年3月31日(単位円)

科目	予算額	収入済額	増減	備考
正会員費	640,000	570,000	-70,000	
賛助会員費	650,000	650,000	0	29社×2口,1社×5口 1社前年度未納,1社退会
雑収入	6,964	43,170	36,206	銀行利息,雑誌販売,見学会残金
繰越金	513,036	513,036	0	
合計	1,810,000	1,776,206	-33,794	

(支出の部)

科目	予算額	支出額	増減	備考
印刷費	1,100,000	1,050,360	49,640	会誌46,47号,封筒印刷
運営費	480,000	149,094	330,906	講師旅費謝礼,会場費,その他
通信費	150,000	167,274	-17,274	会誌郵送,雑誌,切手
人件費	54,000	55,775	-1,775	会誌郵送,各案内郵送,タグシール入力アルバイト
雑費	26,000	12,566	13,434	パソコンソフト,タグシール
合	1,810,000	1,435,069	374,931	

(収支)

1,776,206-1,435,069 =341,137 円平成9年度へ繰越

報告承認(3)

平成8年度監査報告

平成8年度会計監査を実施しました結果,諸帳簿,諸証票の記帳,保管ならびに予算の執行が明確かつ適正であったことを認めます。

平成9年5月30日
 会計監査委員 小林 巖雄
 岩永 伸

平成9年度新潟応用地質研究会の運営方針(案)について

平成8年は、12月6日に発生した蒲原沢土石流災害など、予期できなかった災害の予知などの新しい課題への取組と、自然環境保全や財政再建対策にかかわる大規模公共事業への批判や公共事業コストの縮減など、社会経済情勢の変化は応用地質分野においても大きな影響を受けることが予測されるところです。

情報技術の進歩は、新しい調査や施工技術の発展を促し、よりコストの低い、精度の高い、また省力化、省材料、省エネルギーの技術開発の一つの契機になると考えられます。

平成9年度においては、新しい時代を担う地域の若い技術者、研究者の積極的な活動への支援環境整備を重点に、会の活動を展開していきたい。

具体的には、次の通りです。

- 1 会員による積極的な活動を促すため、会員が共同、協力して行う研究、調査、図書の発刊などへの支援環境の整備を図る。
活動への助成、アドバイザーの斡旋
- 2 会員相互の交流、親睦を高め、関連団体に加え異業種、異分野との積極的な交流、情報交換により会員の視野拡大を図る。
例会、見学会の開催、会誌の発刊、各種講演会の共催など
- 3 地域社会に貢献する会の新しい活動に関する施策を検討、具体的な展開を図る。
「北陸の応用地質」、または「・・・地盤災害」、または「・・・土地地質」などの発刊(英訳)
新潟県地質図編纂への協力、防災フェア'97「新潟の地震」講演会への共催

議案 (2)

平成9年度事業計画

1) 事業計画 (案)

- | | | |
|----------|------------|-----|
| ① 総会 | | 1 回 |
| ② 例会の開催 | (春, 秋) | 2 回 |
| ③ 会誌の発行 | (48, 49 号) | 2 回 |
| ④ 見学会の開催 | | 1 回 |
| ⑤ グループ研究 | | |

2) 予算 (案)

(収入の部)

平成9年 4月 1日～平成10年 3月31日 (単位円)

科目	予算額	内 訳
正会員費	652,000	326名×2,000 円 現在会員数326 名
賛助会員費	670,000	31社×2 口, 1社×5 口
雑 収 入	6,863	銀行利息, その他
繰 越 金	341,137	
合 計	1,670,000	

(支出の部)

科目	予算額	内 訳
印 刷 費	1,150,000	会誌, 見学会資料, 例会案内はがき, 等印刷
運 営 費	280,000	講師旅費謝礼, 会場料, 研究補助, 懇親会補助, 評議, 幹事会費助
通 信 費	160,000	会誌発送, はがき, 切手
人 件 費	54,000	アルバイト料6000×3名×3回
雑 費	26,000	事務用品, その他
合 計	1,670,000	

応用地質研究会備品目録

- ・スクリーンスタンド 55,000円 H.1. 6.20
- ・スライド映写機 113,712円 H.1.12.11 (地すべり学会新潟支部と共同購入)
- ・ハンドマイク 19,770円 H.2. 9.14
- ・軽量棚 27,501円 H.3. 3.29
- ・差し棒 7,500円 H.3. 6.18

新潟応用地質研究会会則変更(案)

- 1 名称: 本会は新潟応用地質研究会という。
- 2 目的: 本会は応用地質を主とする地球科学に関する研究の推進, 技術の向上, 普及を図ると共に, 会員相互の親睦, 関連分野との交流により地域社会の発展に寄与することを目的とする。
- 3 事業: 本会は, その目的を達成するために, 次の事業をおこなう
 - (1) 会誌, その他の出版物の刊行
 - (2) 例会(講演会, 研究発表会, 技術講習会, 見学会)等の開催
 - (3) 共同研究, 調査の実施
 - (4) 関係資料の収集
 - (5) その他必要と認められる事項
- 4 会員: 本会は次の会員で構成される。
 - (1) 正会員: 本会の目的に賛同し入会を承認された者
 - (2) 賛助会員: 本会の目的に賛成し入会を承認された, 団体または機関
 - (3) 名誉会員: 本会の発展に功労のあった正会員で, 役員会の推薦により総会の議決を経た者
- 5 入会: 本会に入会を希望する者は, 所定の入会申込書を本会事務局に提出し, 幹事会の承認を得るものとする。
- 6 会費: 会員は, 下記の会費を前納しなければならない。
 - (1) 正会員: 年額 2,000 円
 - (2) 賛助会員: 年額 1口10,000円で2口以上
- 7 会員の権利: 本会で行う各種事業への参加, 刊行物の配布, 保管資料の利用, 会の運営への意見, 提言等を行うことができる。
- 8 役員: 本会には正会員の中から評議員の推薦を経て総会の議決をもって次の役員を置くものとする。なお, 任期は2年とし, 再任をさまたげない。
 - (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 2名
 - (3) 評議員 若干名
 - (4) 幹事 若干名
 - (5) 監査役 2名
- 9 運営: 本会はつぎの機関で運営する。
 - (1) 総会: 正会員で組織し, 本運営の最高決議機関として会長が招集により年1回開催し, 本会運営の基本方針を決定する。総会の成立は委任状を含め正会員の10分の1以上の出席, 議決は, 出席者の過半数を要し, 可否同数のときは議長が決定する。
 - (2) 役員会: 会長, 副会長, 幹事長, 副幹事長で構成し, 会長の招集により開催, 会の運営方針を審議する。
 - (3) 評議員会: 評議員で構成し, 会長の招集により開催, 会長の諮問事項を審議する。
 - (4) 幹事会: 幹事で構成し, 幹事長の招集により開催, 総会の決定方針に従い会の運営にあたる。
- 10 会計
 - (1) 本会の会計年度は, 毎年4月1日にはじまり, 翌年3月31日に終わる。
 - (2) 本会の経費は, 会費その他の収入をもってあてる。
- 11 事務局: 本会の事務局は, 新潟大学積雪地域災害研究センター(新潟市五十嵐2の町8050)に置く。
- 12 その他: 本会則の変更, 並びに会則に記載のない事項で重要な事項は, 総会において定めるものとし, この会則以外に本会の運営に必要な事項は, 幹事会で定める。

[附] この会則は平成9年6月26日から施行する。
平成元年6月30日改正
平成6年6月3日改正
平成8年5月24日改正

平成9年度役員 (案)

会 長 小川 正二 長岡工業高等専門学校

副 会 長 山岸 俊男 新潟土木事務所
副 会 長 米沢 富信 八千代エンジニアリング

評 議 員 青木 滋 新潟大学名誉教授
奥村 義郎 国際航業 新潟支店
熊谷 忍 (株) 興 和
須田 光治 (財)産業地質科学研究所
中山 輝也 (株)キタック
布施 弘 新潟県企業局開発課

監 査 役 小林 巖雄 新潟大学理学部地質科学科
岩永 伸 (株)キタック

幹 事 長 石橋 輝樹 新潟県三面川開発事務所
副幹事長 (総括・行事) 川島 隆義 (株)新協地質
副幹事長 (編 集) 大谷 政敬 (株)キタック
副幹事長 (庶 務) 鈴木 幸治 新潟大学積雪地域災害研究センター

幹 事

(行 事)

◎栢森 宇一郎 旭調査設計
○沼田 誠 ライト工業
神田 章 県農地管理課
高島 清 村尾技建
柿崎 竹男 大手開発

(編 集)

◎古川 昭夫 明治コンサルタント
○小嶋 謙一 国土防災
伊藤 俊方 日さく
佐々木 正 県長岡土木
岡野 靖 応用地質
関谷 一義 県衛生公害研

(庶 務)

◎田村 伸夫 ㈹コンサルタント
○渡辺 秀生 興 和
相田 毅 県新津土木
佐藤 成昭 県上越土木
高野 正樹 県新発田農地
坂井 正 環境衛生研